

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

11月号

生きる力の育成

副校長 瀧川文子

10月4日より、通常登校が始まりました。全員と一緒に登校できるのは7月の1学期以来です。9月の分散登校中は、いつもの半分の人数で学校生活を過ごしていた子どもたち。やはりみんながそろると、より元気によりうれしそうにしています。遠足や校外学習も始まりました。11月には6年生の修学旅行も予定しています。コロナ感染に気を付けながらではありますが、今までと同様、子どもたちの学びを大切にしていきます。

10月14日に学校評議員会がありました。本校は、学校評議員会を設置しており、村山郁男様、金子忠一様、大島龍彦様、赤羽孝造様、佐野泰子様 の5名が、開校以来15年間評議員を務めていらっしゃいます。そして、本校の取り組みに御意見いただいたり、地域での児童の様子と学校での様子を共有したりして、本校の教育活動を支えてくださっています。会ではさまざまな話題が出ましたが、特に生きる力について話し合いがされました。生きる力を、自分で考える力、言葉を理解する力（読解力）、言葉で伝える力、自立する力等と捉え、本校の子どもたちの実態はどうなのか、その力を付けるために学校ではどのようにしていくか、地域や家庭の役割は何かなど、いろいろ御意見をいただきました。生きる力の育成は、まさしく学校教育目標「すすんで学び 笑顔かがやく さわの里」の姿の育成でもあります。

学校評議員会 主な話題

- ・生きる力の育成
- ・コロナ禍における児童の様子
- ・タブレット端末での学習の様子
- ・スマートフォンの所持
- ・国際教室の様子
- ・読書量について
- ・集中力の低下について
- ・読解力について

学校において、生きる力の育成は、ねらいを明確にして子どもたちが主体的に取り組めるよう教育活動を行うことと考えています。学習課題を決めること。見通しをもって取り組み、振り返りをする。友達と意見を交わしながら考えを深め、答えを導くこと。そのような学習をすすめていくことで、生きる力が育成されていくことを期待しています。普段の学習では、自分の考えをもつこと、言葉を使って友達と関わることを大切にしています。また、遠足や社会科見学など校外学習では、普段と違う活動をすることで気付きや学びが生まれ、校外へ出向くことでまちや人との関わりに目を向けることも多くなります。また、縦割り活動（なかよし遊び）やクラブ、委員会活動も他学年との交流により、分かりやすく言葉で伝えたり、意図や思いを理解したりする力が育ちます。そのような取り組みを学年に応じて続けていきます。

明日予定している運動会も生きる力を育成する取り組みの一つです。この数週間、子どもたちは運動会に向けて頑張ってきました。動きを覚え、協力し、学級や学年集団を高めました。今年度は全学年一緒に運動会を行うことができます。一人ひとりがカー一杯取り組む姿、応援や放送などの実行委員を高学年が務めている姿を、ぜひご覧いただきたいと思います。